

白蘭

令和2年8月4日 8月号① No9



ホームページは、「白蘭小学校」で検索するとすぐ見つかります。

【学校教育目標】

- ・深く学ぶ子
- ・心豊かな子
- ・健康な子
- ・未来をつくる子

日本の授業研究・・・

授業の質を高めるために教員同士が学びあう授業研究は、日本特有の研修方法で海外からも注目されています。世界でもあまり行われていないこの取組みは、明治期以降受け継がれてきた日本の伝統とも言えます。皆さんも子どもの頃、何かいつもと違う雰囲気での授業、参観日とは違って大勢の先生方に囲まれて緊張しながら受けた授業を経験したことがあるのではないのでしょうか。

この授業研究は、授業における子どもの活動や発言などを予想し、よりの確な対応や指導を事前に計画、準備して授業に臨みます。授業後は、その計画の妥当性や授業中の質問や指示の仕方など授業を形作っているすべてについて職員で議論し、普段のよりよい授業につなげます。



本校では、4年1組の先生による国語の授業研究が先日行われました。感染拡大防止のため全職員参観とせず、ビデオ撮りとなりましたが、子ども達は、緊張しつつも普段の活発な様子を見せていました。授業後、参観していた先生に「ありがとうございました」と言う子がいて感心しました。その後の協議では、子ども達が課題をしっかり把握し自分の考えを意欲的に話す姿に賞賛の意見が多くあがりました。

今年度の通知表の配布について

3月末にお知らせし、ご承知のことと思いますが、本校では、長期的にお子さんの様子を見ることで、より客観性、正確性、妥当性の高い評価をめざしています。そのため今年度から通知表を年2回(前期、後期)配布することとしました。明日の終業式には「あゆみ」を持ち帰りませんが、1学期終了の節目として、お子さんの努力やがんばりに対する声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

なお、前期の通知表の配布は、9月25日を予定しております。

| 日 | 曜 | 8月の主な行事 |
|----|---|------------------------|
| 1 | 土 | |
| 2 | 日 | |
| 3 | 月 | 午前授業(給食あり) |
| 4 | 火 | 午前授業(給食あり) |
| 5 | 水 | 1学期終業式 午前授業(給食なし) |
| 6 | 木 | 夏季休業 |
| 7 | 金 | |
| 8 | 土 | |
| 9 | 日 | |
| 10 | 月 | 山の日 |
| 11 | 火 | |
| 12 | 水 | 学校閉庁日 |
| 13 | 木 | 学校閉庁日 |
| 14 | 金 | 学校閉庁日 |
| 15 | 土 | |
| 16 | 日 | |
| 17 | 月 | |
| 18 | 火 | 2学期始業式 午前授業(給食あり) |
| 19 | 水 | 午前授業(給食なし) 二計測(1,2,3年) |
| 20 | 木 | 二計測(4,5,6年) |
| 21 | 金 | 視力検査(4,5,6年) クラブ活動 |
| 22 | 土 | |
| 23 | 日 | |
| 24 | 月 | 視力検査(1,2,3年) |
| 25 | 火 | 聴力検査(3,5年) |
| 26 | 水 | 見学学習(3年) 聴力検査(1,2年) |
| 27 | 木 | |
| 28 | 金 | 委員会活動 人と旗の波運動(1,2年) |
| 29 | 土 | |
| 30 | 日 | |
| 31 | 月 | |

2学期始業式・8月18日

1学期終了・ご支援、ご協力に感謝

新型コロナに翻弄された1学期も明日で終了です。新学期スタート直後の長い臨時休業を経て6月から再開された学校生活でしたが、子ども達は、多少の不安もありつつ早々に学校のリズムを取り戻し、ソーシャルディスタンスを意識しながら集中して学習に取り組んでいました。これもひとえに保護者、地域の皆様方のお子様への見守りや声かけのおかげと深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

明後日から夏休みです。新型コロナ対策に加えて、交通事故や水の事故など様々な危険も多い夏です。くれぐれも事故の無いよう、引き続きお子さんの見守り声かけをよろしくお願いいたします。

子ども達がみんな元気に登校する2学期を楽しみにしております。



青健協から、お菓子をいただきました

蘭北地区青少年健全育成推進協議会は、地域の子どもの健全育成のために様々な事業を行っていただいております。しかし今年度は、新型コロナの影響で子ども達が楽しみにしている事業の中止を余儀なくされています。その一つである恒例の夏祭りも中止となりました。そのような中「子ども達の笑顔のために」と青健協の方々が、お菓子を用意してくださいました。明日の終業式に持たせますので、ご家庭でいただいでください。青健協の皆様、お心遣いありがとうございました。

肯定的評価のすすめ

親や教師は、子どもにどんな場面でもやる気と意欲をもって、全力で物事に取り組んで欲しいと願っています。そのような子どものモチベーションを高めるためには、周囲の大人の子どもへのかかわりが大きく影響します。

私たちはどのようにかかわり、どのような声かけをしたらいいのでしょうか。言い方の違う声かけAとBでは、どちらの声かけが子どものやる気や意欲を高めるのでしょうか。

A 「〇〇くん、あなたのノートの字は、ずいぶん乱雑で読みづらいですね。」

「でも、まず目からはみ出していないのでいいですよ。」

B 「〇〇くん、あなたのノートの字は、まず目からはみ出していないので、見やすいですね。」

「でももう少し、丁寧に書くともっとよくなりますよ。」

1つよい点をほめて1つよくない点を指摘しているのはどちらも同じですが、大きな違いは、その順番です。

Aは否定から、Bは肯定から話しています。Aは、ほめてはいますが先に伝えたよくない点の指摘が強く印象に残ります。後半のほめ言葉は「とってつけた」感じを受けます。Bは、先にほめることでほめられたという印象を強くもち「もっとほめられたいから、次は丁寧に字を書こう」という気持ちになり、指摘された部分を素直に受け止めやる気や意欲につながります。先によいところをほめ、その後にもっとよくなるヒントを与える声かけが『肯定的評価』です。100を与えておいて、よくない点をマイナスしていく減点的なかかわりではなく、0からよい点を増やし100にする加点的なかかわりです。そこには、「あなたにもっとできるようになって欲しい、よくなって欲しい」というこちら側の願いが強くこめられています。子どもは、その願いに応えようとして自らのモチベーションを高めるのです。

これは1つの例にすぎませんが肯定的評価は、子どもだけではなく様々な人との関係をよりよいものにする方法の一つかもしれません。